

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後デイサービス寺子屋			
○保護者評価実施期間	令和 7年 2月 15日		～	令和 7年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数)	10
○従業者評価実施期間	令和 7年 2月 15日		～	令和 7年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数)	16
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 5月 15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々に合わせた支援を行っている。	子どもたちが、気になる事や流行っているものを聞いたり、確認したり、常に取り入れたり、個々で好きな事や好きな物で、一緒に遊んだり、学んだりする。個別や集団もその時に応じて、支援を行ったり、ゆっくり過ごしたい時は、本人のペースに合わせる取組を行っています。	子ども達の個々の得意を伸ばす。絵や文字を書く、作品作り、折り紙、電車や路線図、パソコン、カードゲーム、ピアノ、なわとびやバトミントンなど、得意な事を見つけて、集中し、さらに、将来に向けた支援を行う取組を行っている。
2	生活スキルを上げる支援を行っている。	帰ってきたら、「ただいま」、靴をしまう。鞆をしまう。手を洗うなど、家庭に帰った時と同じようにし、宿題を終わらせたり、おもちゃは終わったら片づけるなど、毎日の生活リズムを作るような取組を行っています。	毎日の生活の中に関わってくる支援を行い、家庭でも同じようにリズムを作りやすい環境にし、生活スキルを上げる取組を行っている。

3	本人やご家族の相談援助を行っている。	毎日、本人の様子を確認し、楽しかった事や不安などがある時には、コミュニケーションを取り、不安を少しでも軽減できるように、お話を聞く、共感するなどの支援を行っている。ご家族にも相談援助行ったり、すべてが円滑になるように取り組んでいます。	いつでも本人やご家族の相談に応じるように、電話だけではなく、メールやLINEなどを取り入れ、相談しやすい環境になるような取り組みを行っています。
---	--------------------	---	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母会や保護者会の開催が上手く行われていない。	個別での相談を多く取り入れているため、保護者会まで開催出来ていないのが現状です。地域での活動には積極的に参加を行っています。	当事業所だけでは難しいため、他事業所との合同保護者会や保護者の方にもあまり負担がない程度に開催する事などの工夫が必要ではないかと思います。
2	決まったプログラムはない。	個別で合った支援を行っているため、プログラムの設定はありません。長期休暇の時は、ドライブや公園、施設見学、キャンプなど行っています。	放課後は、個々に合わせた支援を行い、長期休みは、こども達から、意見を聞き、遊びたい場所ややりたい事を確認した取り組みを行っている。
3	スタッフの高齢化	若い職員がいない中、スタッフがどんどん高齢化しているのが、現状ですが、子育て経験の知識豊富なスタッフは多いです。	若いスタッフを取り入れたりし、スキルアップしてもらう研修なども行っています。